



輝け！北っ子！

こどもたちを見守る ～二本松警察署の皆さんありがとうございます～

28日、朝の登校に合わせて、二本松警察署生活安全課の皆さん・福島県警察スクールサポーターの方々が、校門前等でこどもたちの登校を見守っていただきました。

これは、学校再開に合わせて、防犯と交通安全の啓発を目的に行っていただいたもので、こどもたちに「おはようございます」と声を掛けながらの見守り活動になりました。こどもたちには「自分の命は自分で守る」ことが基本であることを話してはいますが、いかんせん「子ども」です。親が、教師が、地域が、行政が、あらゆる角度から、あらゆる方法で守ることが必要になってきます。守られているという安心感は、子どもがのびのびと成長する原動力になっていくものと思っています。本当にありがとうございました。



また、北小には「北っ子見守り隊」という組織があります。登下校時に一緒についていただいたり、要所に立っていただいたりして、本当に頭が下がります。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今のところ、一同に介して話し合ったり、活動を確認したり、組織だった活動を展開することは難しい状況にありますが、その中でも、子どものことを思い、活動を続けてくださっている方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

ご協力感謝いたします～子どもの命を守るために～

27日の下校時刻に、校門前に右のような立て看板を立てさせていただきました。「ん？」と思った方もいらっしゃると思います。こどもたちの登下校時刻と校地駐車場への車の出入りが重なると大変危険な状態になると判断した対応でした。ご理解ください。(もちろん、緊急時や早退や健康上の対応の際は、遠慮せずに校地の駐車場を利用していただいて結構です。)

子どもに何かあってから、「あの時こうしておけば・・・」では遅いのです。実際、以前に福島県内の小学校の校門付近で、保護者の車が児童をひいてしまうといういたましい事故も起きています。

立て看板の有無にかかわらず、ご注意いただきたいと思います。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

----- 切り取り線 -----